

TREATMENT CENTERS REPORT.

2018. May. Seminar

トリートメントセンターから始まる医院のコンセプト作り

～良質な医療を提供する秘訣とはーオープンクリニック開催～

2018.5.27 <10:00-13:00> FC24 デンタルストア



札幌駅より至近、サッポロビール工場跡地につくられた大型複合商業施設「サッポロファクトリー」内にあるFC24デンタルストア。院長は国内デンタルインプラントの第一人者でもある舘山佳季先生だ。2013年に移転開業し今年で5年目を迎える。

今までのデンタルインプラント中心の診療スタイルとは全く違うコンセプトを新たに確立し、大きな成功を収めている。去る2018年5月27日、FC24デンタルストア内で開催された「デンタルユニットを中心とした歯科医院コンセプト作り」セミナーについてレポートする。





歯科診療において「患者さん」「術者」「設備」「診療コンセプト」
全てが相互に良好なバランスを保たなくてはならない。
それは診療領域という枠を超えた「医療」について考えることと同義である。
舘山先生が行き着いた「医療」とは何か？

「FC24デンタルストア」という 名称に込めた思い

一般的に「歯科医院」「クリニック」「デンタル
オフィス」という名称が多いが、当院は
「FC24デンタルストア」と名付けている。ストア
とはいわゆる“コンセプトストア”を意味し
ている。一方的な押し付けで治療するのでは
なく、患者さんに治療のコンセプトを示し選
択肢を与える、というものだ。1997年よりイ
ンプラント治療を中心に診療を行ってきた
が、その患者さんのお子さん、お孫さんの世
代へ移行し、各世代が来院している。更に小
児中心の予防歯科へシフトすることで、老若
男女が集う憩いの場となるように、という思
いが「ストア」には込められている。

テーマカラーは「オレンジ」 ポップなイラストが散りばめられている 明るい院内。その理由は。

世界的に有名な幼児教育理論に「モンテッ
ソーリ教育」がある。大人の価値観ではなく、
子供の興味や発達段階を正しく理解し「やっ
てみたい」「触ってみたい」「書いてみたい」と
思う環境を適切に用意する、というものだ。院
内のオレンジ色、ポップな近未来的遊び絵
は、この思想に基づいている。

偶然にも、モンテッソーリの思想と、デンツプ
ライシロナの歴史は共に100年を超える。デ
ンツプライシロナは、その時間と歴史におい
て様々な研究を行い、人間工学的要素を見
事に昇華させ今日に至っている。デンツプ
ライシロナ社は、自社デンタルユニットに敬意
を込めて「トリートメントセンター」と呼称し
ているが、私は、全ての患者さん、特に小児に

「トリートメントセンター」を使用していきた
いと思っている。最初に優れたものに触れて
もらうことは、実は、術者と患者さん、双方に
大きなメリットをもたらすのだ。優れた理論、
優れた製品には、長い歴史に培われた意味
がある、と私は思っている。
写真にあるように、印象模型を格納する箱に
は、患者さん自身によるイラストが描かれて
いる。手を動かすことは人間の根源であり、
集中する環境をいとも簡単に作り出すこと
ができる最適な手法だ。これら印象模型箱は
入口エントランス横に全て陳列されている
が、基本的に半永久的に陳列される。その時
の思い、感じたこと、手に触れることが、その
個人の成長の何らかの一助となることを願っ
て、の思いでもある。



医院の中心であるデンタルユニット

私が最初に開業したのは1987年、当時は国
産のデンタルユニットを導入しスタートし
た。毎日100人を超える患者さんが来院し、
今の私を作ってくれたと大変感謝している。
と同時に、2つの思いもこみあげてきた。一つ
は、いわゆる保険中心の「量産型治療」から
「質の高い治療の提供」へ変えなくてはいけ
ない。二つ目は、当時のデンタルユニットは故

障が多く、どうにかならないものか、と思っ
たのである。実はこの2つは相関しており、イ
ニシャルコストは高くてもランニングが抑えら
れるデンタルユニットで、かつクオリティー
コントロールされているのであれば、質の高
い治療が長期にわたり提供できる。また長
時間にわたる治療でも患者さん、術者のモチ
ベーションは維持される。加えて1台で相当
額の診療費を生み出すことができる。実際、
のちに導入した海外製デンタルユニットは
16年使用し、特段大きな問題は無く診療を
支えてくれた。私はインプラント治療から小
児歯科、予防歯科へと変遷をし、全く違う分
野に移ったと思われがちだが、根底にある
「患者さんへの質の高い治療を、世代を超
えて提供する」という思いは変わらない。そ
の思いを支えるのがデンタルユニットであ
り、それは、デンツプライシロナのトリート
メントセンターである。モンテッソーリ教育に
ある「触ることの重要性」と同じく、実際に見
て、触れて、ご自身が体験することを強くお勧
めする。

トリートメントセンターから始まる 医院のコンセプト作り

上述の通り、私の診療コンセプトは時代と共
に変化し、クリニックの場所、導入機器も変
化してきたが、その過程を支えるのは「質の
高い治療の提供」という強い思いである。で
は「質の高い治療とは？」と問われれば、正し
い機器を使い、正しい治療を行うこと、と答
える。では「正しい機器とは？」と問われれば、私
は、歴史があり、機能的な美しさを持ち、耐久
性に優れたもの、デンツプライシロナのトリ
ートメントセンターである、と答える。

舘山 佳季 先生

（略歴）

1984年 北海道医療大学歯学部 卒業
1993年 舘山歯科東町医院 開業
1997年 サッポロファクトリーデンタルクリニック 開設
2013年 FC24 DENTAL STORE 開設
2017年 浦臼町歯科診療所 開設
日本歯周病学会 / 日本口腔外科学会 /
日本口腔インプラント学会 / 日本顎咬合学会 /
プロ-ネマルクシステム インストラクター



佐藤 磨央 先生

（略歴）

1996年 札幌歯科学院専門学校 卒業
1998年 サッポロファクトリーデンタルクリニック 勤務
2003年 スウェーデン イエテボリBOCにて研修
2013年 FC24デンタルストア 勤務
(旧サッポロファクトリーデンタルクリニック)

様々な診療において歯科衛生士の果たす役割は、
その治療を成功に導く大きな要因であることは言うまでもない。
歯科衛生士という、より患者さんに近い視点から、トリートメントセンターが
備えているキーサクセスファクターを紐解いてみる。



モータードライブヘッドレスト

通常のデンタルユニットは、後頭部のみを支え、
頸部の後方に空間ができてしまう。Sinusの
モータードライブヘッドレストは、頭部全体を
支えており、患者さんに大きな安心感を与
える。診療ポジションへ倒れる際、一番最初に動
くのはヘッドレストから。まず頭部を支えてから
上半身がゆっくり倒れる。この精密な動きは長
年の人間工学研究に基づいたものだという。



口腔内カメラ

AF(オートフォーカス)機能付きの口腔内カメ
ラを備える。不適な部位を見つけたら、その場
で撮影しその場で患者さんに見せることが可
能だ。その場で直接自身の歯をみることができ
るので、説得力がまるで変わる。特に、主訴では
ない二次カリエスを発見した場合、処置を先送
りすることなく患者さんの治療の同意が得ら
れるのは、このカメラに依るところが大きい。



無影灯LEDビュープラス

患者さんの診療フローにおいて、ライトの照射
部位を調整することは、実は大きなロスである。
また他の機器類に触れることは衛生的にもメ
リットは何もない。このLEDビュープラスは上
下左右に4灯備えた无影灯。口腔内をくまなく
照らし、上下顎問わず照射位置を調整する必
要はないため時間のロスがない。また、歯石の
取り残しを防ぐというメリットにもつながる。



ドクターユニット

ドクターユニットには、3wayシリンジ、コン
トラ、タービン、スケーラー、口腔内カメラ、全てが
横一列に配置されている。別途、他の機器類を
準備する必要がない。それは、「準備する時間」
「片づける時間」「配線コード類のわずらわし
さ」「衛生環境のメインテナンス」から解放され
ることを意味する。



3wayシリンジ

他社のシリンジと比較し、先端が長いことに気
づく。使用して分かったのだが、エアが非常にピン
ポイントで出るので、見たい部位に至近で当
てることが可能。特定の粘膜組織を診るときに
非常に使用勝手がよい。また、3wayシリンジ
は、モーター類の一番左に配置されている。目
視せず、または無意識に手に取ることが可能な
位置が、一番左の場所なのである。



ドクターチェア HUGO

両足で踏ん張れる位置をもとに座面の高さ位
置を決めることが基本。だが、診療部位によ
っては術者の鼠蹊部(そけい部:左右の大腿部
の付け根)を圧迫し、術者への負担が増す。
HUGOは、左右の太ももに面する座面が左右
独立した動きをする。骨盤から背中にかけての
安定につながり、ひいては長時間にわたる診療
クオリティーの維持にもつながる。

トリートメントセンターとは？

—「トリートメントセンター」という名に込められた想い—

デンツプライシロナのデンタルユニットは全て「トリートメントセンター」と呼称されています。それは、私たちの今日までの歩みと大きな関係があります。

1950年代までの歯科治療は、各デバイスが個々に独立したコンポーネントの集合体でした。よって患者さんは椅子に「垂直に座る」姿勢を強いられ、術者にとっても大きな負荷がかかるものでした。1960年代に入り我々の開発部門は、他に先駆けて「Time and Motion」という思想を取り入れ、診療効率向上の研究がスタートしました。そして、仰臥位（ぎょうがいは：仰向けで水平に寝る位置）で患者さんを治療するデンタルユニットが開発されたのです。さらに研究開発が進

み、1983年、世界で35,000台の販売を記録し、伝説の名器「Sirona M1」が誕生。すべての機構を一台に単体化し、ドクターとアシスタントが診療に専念でき、患者さんは緊張感から解放され治療を受けられるようになりました。それは今日の診療ワークフローの原点となる画期的なことでした。この「Sirona M1」は「世界で一番販売台数が多いデンタルユニット」としてギネスブックに登録されています。

以来35年、私たちが生み出すデンタルユニットは、歯科医院の中心にあり、欠くことのできない重要な役割を果たす機器として、敬意を込めて「トリートメントセンター」と名付けられたのです。

私たちの理念は、より良い、より安全に、より早い治療を患者さんに提供すること。そして私たちは常に、次のスタンダードを作り出す新たなスタートラインに立っています。



Sinius(シニウス)その語源はラテン語のsinus “曲線”に由来する—

一目でそれとわかるデンツプライシロナ・トリートメントセンターのフォルムを意味します。その比類なきデザインは、デンツプライシロナの前身であるSirona - Siemens時代に遡ります。開発の根底に常にあった「ムダなものは省き、必要なものは十二分に」という理念に加え、「人間工学理論」を歯科医療従事者と患者さん両者へ見事に昇華させた緻密な設計の上に成り立っています。その揺るぎない理念のもと現代の先進技術を取り入れたSinusは、高い効率性で診療ワークフローを支えます。

**効率性、
直感的、
コンパクト**

- インプラント治療機能、歯内治療機能、根管長測定機能をドクターユニットにビルトイン*
- ヨーロッパ基準のハイジーン機能
- 直感的に操作できる液晶タッチパネル
- ハンズフリー操作が可能な無線マルチフットコントローラー*
- エルゴノミックデザイン
- フラッグシップモデルTeneoに比べ省スペースを実現

※オプション



デンツプライシロナ株式会社

本社 / 〒106-0041 東京都港区麻布台1-8-10 麻布偕成ビル

支店・営業所

- | | |
|---------------------------|-----------------------------------|
| ■ 札幌支店 Tel: 011-709-5800 | ■ 福岡支店 Tel: 092-518-1800 |
| ■ 仙台支店 Tel: 022-266-4020 | ■ 盛岡営業所 Tel: 019-604-2340 |
| ■ 東京支店 Tel: 03-5148-7895 | ■ 庄内営業所 Tel: 0235-29-1217 |
| ■ 横浜支店 Tel: 045-440-1521 | ■ 埼玉営業所 Tel: 048-799-2931 |
| ■ 名古屋支店 Tel: 052-251-8467 | ■ 静岡営業所 Tel: 054-653-2711 |
| ■ 大阪支店 Tel: 06-6243-6636 | ■ 宇都宮サービスステーション Tel: 028-614-3710 |
| ■ 広島支店 Tel: 082-546-2301 | |

BT 6401PD